

実証実験の目的

- 便利・快適でバリアフリーな移動環境や、居心地の良いウォーカブルな都市空間の形成をめざすSMIプロジェクトの推進に向け、自動運転技術の活用や、テラス型停留所、滞留空間の設置、次世代モビリティの活用などについて、その導入効果や導入課題について検証。

実施日程

○令和4年11月11日（金）～13日（日）

自動運転走行実験

大小路筋において、自動運転電動車両の走行実験を実施。自動運転レベル2相当で、運転手が常に乗車した状態で実験を実施。



安全性向上実験

歩道上にセンサー等を設置し、自転車や自動車の接近情報を自動運転車両に送信。



正着実験・乗降体験

熊野小学校前に仮設停留所（切り込みテラス型）を設置し、自動運転技術を活用して、停留所に隙間なく停車（正着）させる実験を実施。



次世代モビリティ体験会

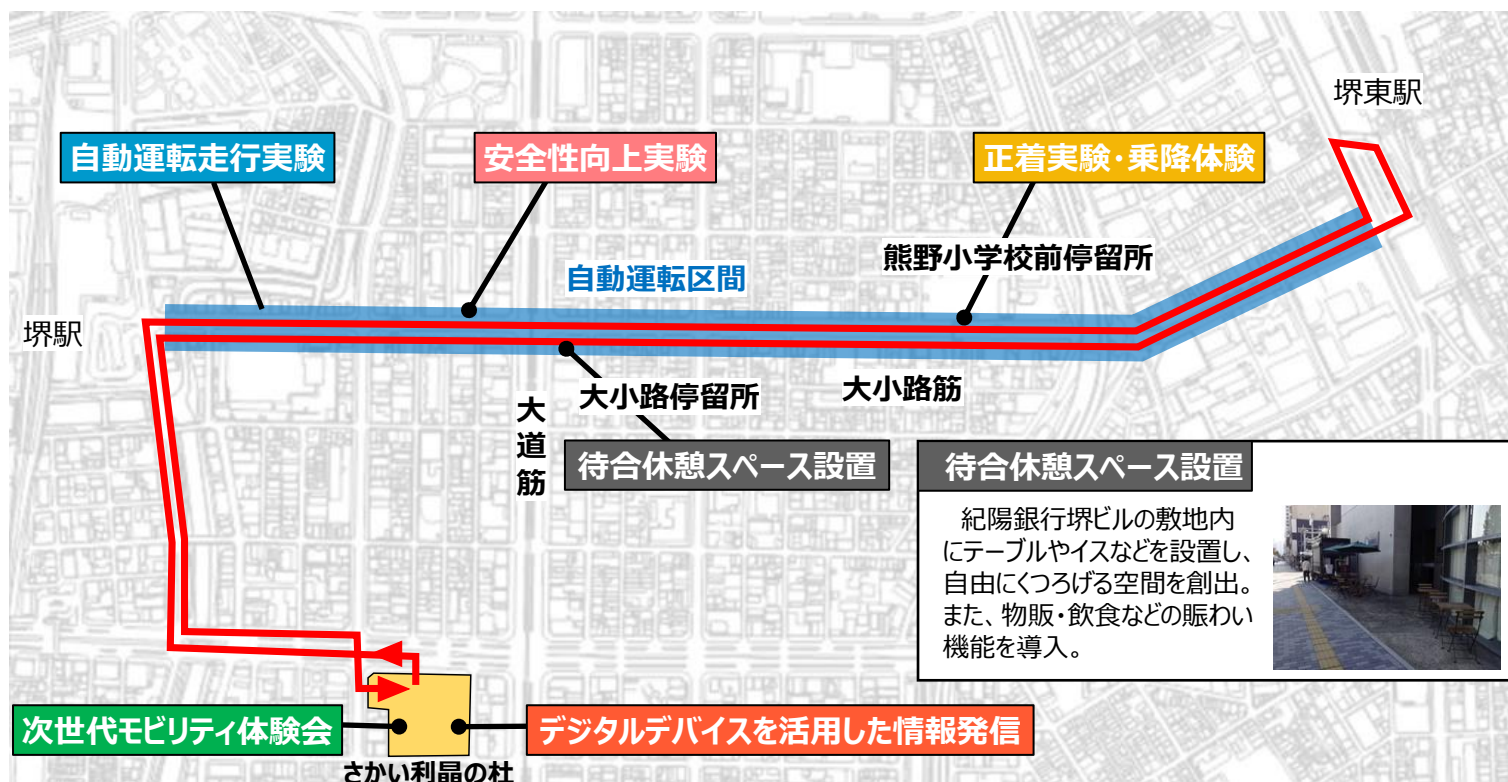
さかい利晶の杜の敷地内遊歩道で、トヨタ製の次世代モビリティ（C+Walk）の乗車体験を実施。



自動追従機能を備えたモビリティ（ロボリーション）を活用し、さかい利晶の杜の館内ガイドを実施。

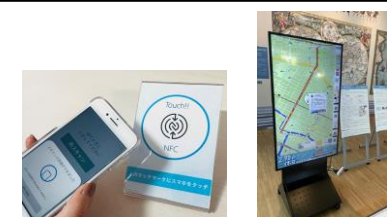


<SMI都心ライン実証実験の概要>



デジタルデバイスを活用した情報発信

さかい利晶の杜に設置したデジタルサイネージに、自動運転車両のリアルタイムの走行位置や施設案内などを表示。また、自動運転車両にNFCタグを設置し、降車時にスマホをかざすことで、実験に関するページを表示。



SMI都心ライン実証実験

バリアフリー乗降検証

- 堺障害者団体連合会の協力のもと、自動運転の走行実験、仮設停留所での正着実験を体験いただき、バリアフリー化を図るうえでの課題等について検証。
- 乗車体験後は意見交換会を実施し、プロジェクトの推進についてご意見をいただいた。

実施日程：令和4年11月11日（金）最終便



実験の様子

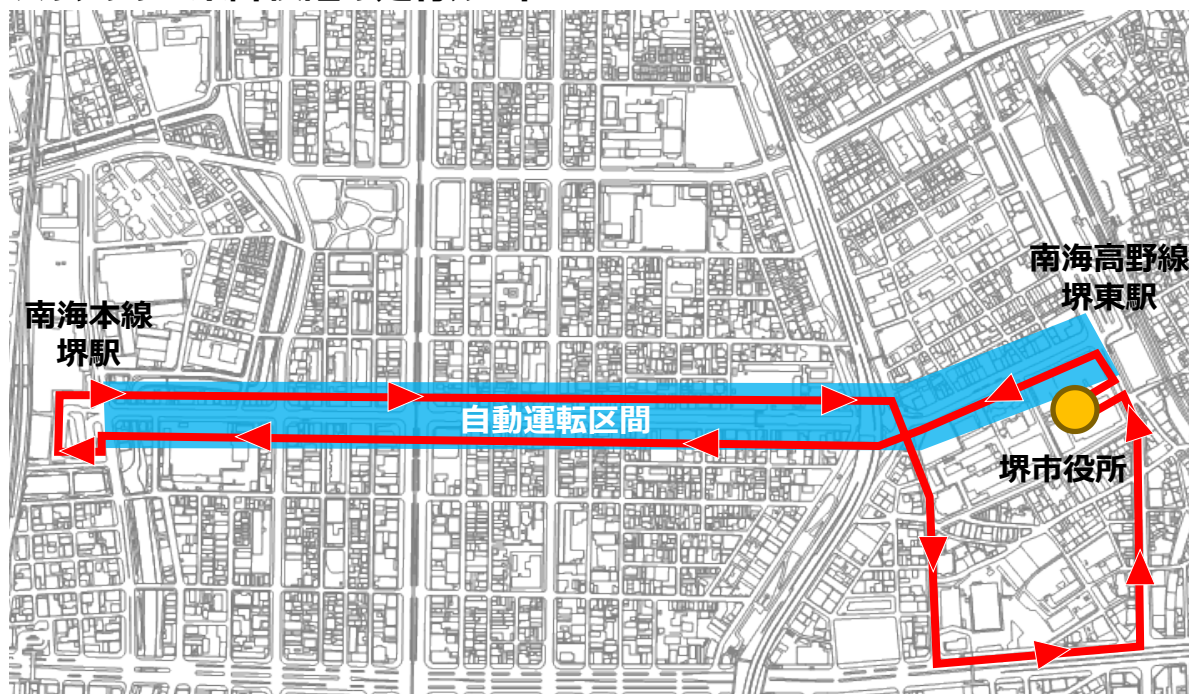


実験の様子



意見交換会の様子

バリアフリー乗降検証の走行ルート



◆ご意見（一部抜粋）

正着実験 (仮設停留所)に 関するご意見	<ul style="list-style-type: none">・停留所での停車幅がかなり空いていて、安全に乗降できる状態ではなかった・停留所とバス乗降口をフラットにするのならば、寄り付かなかった時にどうするかに対応も検討してほしい
自動運転に 関するご意見	<ul style="list-style-type: none">・自動運転にはまだまだ不安があると感じた・仮に将来無人になっても、困ったときに誰かに相談できる状態にしてほしい
ユニバーサル デザインに 関するご意見	<ul style="list-style-type: none">・バスに乗り込む際のスロープを自動化するなど、車いすでもスムーズに乗降できるようにしてほしい・停留所での表示、バス車内での案内方法について、難聴者の方、視覚障害者の方など、全ての方が情報を受け取れる方法としてほしい